



特定非営利活動法人
珪藻くらし創造委員会
稚内層珪藻頁岩利用促進ネットワーク



特定非営利活動法人

珪藻くらし創造委員会

稚内層珪藻頁岩利用促進ネットワーク

宗谷丘陵

珪藻くらし創造委員会では、北海道の大地の恵みである稚内層珪藻頁岩の調湿作用や脱臭作用などを生かした機能性建材や、デシカント除湿やヒートアイランド抑止効果などの省エネ技術などを利用した、快適で健康的なエコライフスタイルを広めるとともに、稚内層珪藻頁岩を有効活用した持続可能な循環型社会を構築するための普及啓発活動、研究開発活動を推進します。

事業内容

NPO法人珪藻くらし創造委員会では、以下の主旨に応じた具体的な事業を行っています。

1. 稚内層珪藻頁岩に関する普及啓発事業
2. 稚内層珪藻頁岩の利用技術に関する研究会の開催
3. 環境負荷低減技術や省エネルギー技術に関する体験学習会の開催
4. 持続可能な循環型社会への貢献
5. 産・官・学・民の連携による稚内層珪藻頁岩の普及啓発活動、研究開発活動の推進
6. 稚内層珪藻頁岩の利用技術・研究開発に関する情報発信
7. 稚内層珪藻頁岩を利用した地域産業振興事業

珪藻くらし創造委員会 設立趣旨

1 趣 旨

18世紀以降の石油・石炭等化石燃料依存型産業振興により、21世紀の持続発展に大きな課題が出ております。エネルギー枯渇、資源枯渇、地球温暖化、ヒートアイランド、大気・水・土壌の汚染など、様々な環境問題が山積し、世界は危機感を共有する時代となりました。

また、現代の住宅は、高気密・高断熱による省エネルギー住宅が展開されておりますが、その一方で、換気の悪化による揮発性有機化合物の滞留や、ビニールクロスなどの人工的な無呼吸素材の大量利用による結露、それに伴うカビ、ダニの発生、さらにはシックハウス症候群と言われるアレルギー疾患の方々の急増など、人間の健康が脅かされる様々な問題が起こっています。

この危機的ともいえる地球・社会・住宅環境を少しでも改善し、持続可能な社会形成を進めるために、日本に豊富に産する優れた多孔質素材「稚内層珪藻頁岩」が、この課題の解決に十分貢献出来る素材であるとの確信に至りました。

この稚内層珪藻質頁岩は、地球の続性作用により珪藻泥岩（珪藻土）が岩石化したものであり、ナノメートルサイズの小孔が無数に広がる天然の多孔質材料で、優れた調湿作用やガス吸着作用を発現します。この作用はヒートアイランド抑止や、空気・水の浄化にも有効であり、さらに高気密・高断熱住宅では、調湿・ガス吸着作用の利用により、快適で健康な居住空間を創造することができます。

しかし、現状では、稚内層珪藻質頁岩は社会的に広くは認知されておらず、ごく一部で限定的に利用されているに過ぎない状況にあります。そこで、稚内層珪藻質頁岩の特性や機能、利用方法などを、NPO法人による広報活動や講演会・体験型学習会などを通じて多くの方々に認知して頂き、さらに利用して頂くことで、環境問題や居住環境の改善に大きく貢献できるものと考えております。さらに、これらの活動が広まることで、地域産業振興にも貢献できると考えております。

2. 申請に至るまでの経過

これまで、稚内層珪藻質頁岩の研究は、北海道立工業試験場や、独立行政法人産業技術総合研究所、北海道大学、北見工業大学、北海道工業大学などの研究機関で行われ、優れた機能や特徴などが明らかにされてきました。今後は、産学官民連携の元、稚内層珪質頁岩の利用促進のためのNPO法人「珪藻くらし創造委員会」を設立し、北海道の貴重な天然資源である稚内層珪藻質頁岩が認知され、多くの方々に利用して頂けることを願い、本法人の申請に至りました。

NPO法人珪藻くらし創造委員会の設立を機会に、幅広い方々の参加、協力を得、多くの創造性が発揮され、環境・健康などに広く社会貢献を出来ることを念願しております。

2009年10月1日

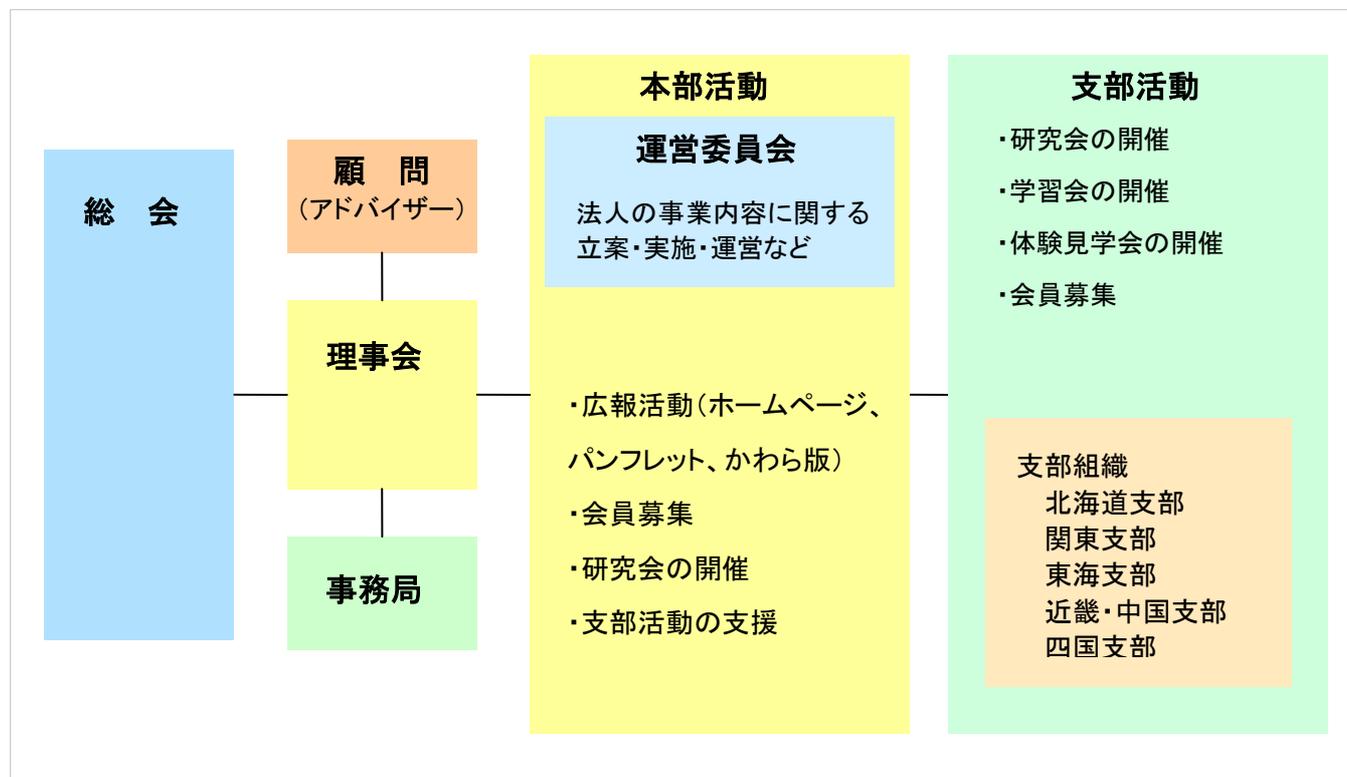
理事長 吉田繁夫

組織概要

名 称 NPO法人珪藻くらし創造委員会「稚内層珪藻頁岩利用促進ネットワーク」

代表者名 理事長 吉田 繁夫（株式会社 自然素材研究所）

組織図（平成 21 年 10 月 1 日）



本部組織

理 事 長	吉田 繁夫	（株式会社自然素材研究所）
副 理 事 長	長野 克則	（北海道大学大学院工学研究科）
理 事	若菜 繁	（ダウ化工株式会社）
理 事	平田 芳久	（チヨダウーテ株式会社）
理 事	伊藤 治二	（三岐通運株式会社）
理 事	鈴木 徳雄	（鈴木産業株式会社）
理 事	馬淵 祐三	（富士スレート株式会社）
理 事	渡辺 義範	（有限会社 稚内グリーンファクトリー）
監 事	中村 真人	（北海道大学大学院工学研究科）

運営委員会

本部事業の企画立案、実施、運営などを行う。

理事長	吉田 繁夫	(株式会社自然素材研究所)
副理事長	長野 克則	(北海道大学大学院工学研究科)
理事	馬淵 祐三	(富士スレート株式会社)
運営委員	秋津川邦弘	(大洋興産株式会社)
運営委員	黒川 麻美	(有限会社稚内グリーンファクトリー)
運営委員	中林 沙耶	(北海道大学大学院工学研究科 博士課程)
事務局長	外川 純也	(有限会社稚内グリーンファクトリー)

顧問

顧問	絵内 正道	(北海道大学名誉教授)
顧問	小林 正義	(北見工業大学名誉教授)
顧問		

支部組織

各支部地域において、研究開発の成果報告や商品紹介などを行う産学官が主体となった研究会の開催、および市民に対して稚内層珪藻頁岩を知ってもらうための学習会や体験見学会などを開催する。

- 北海道支部
- 関東支部
- 東海支部
- 近畿・中国支部
- 四国支部
- 九州支部

入会案内

当会の活動に協賛し、ともに活動をしてくれる方の入会をお待ちしています。

本会の会員は以下の区分があります。

入会金 無 料

年会費

1) 法人会員について

法人会員 A 年間 10 万円

法人会員 B 年間 4 万円

※法人会員における資格の違いについて

	会 費	珪藻くらし委員会 ホームページ上に リンクバーナー掲載	商品紹介 (ホームページ、かわら版)	広告 掲載	勉強会・研究会 参加費
法人会員 A	10 万円	あり	あり	通年	全額免除
法人会員 B	4 万円	なし	なし	随時	半額免除

2) 個人会員、学生会員

個人会員 年間 3 千円

学生会員 年間千円

※入会をご希望の方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先 (珪藻くらし創造委員会 事務局)

住 所 〒060-8628

札幌市北区北 1 3 条西 8 丁目 北海道大学大学院工学研究科

環境システム工学研究室内 珪藻くらし創造委員会 事務局

TEL/FAX 011-706-6287

E-mail info@keiso-kurashi.net

URL http://keiso-kurashi.net/